

◆後期の終業式 (3/17(月)) で、子どもたちに伝えたこと

後期の終業式では、校長から子どもたちへ「①4月に校長と約束した2つ（「友達や先生の話をしっかり聴く」、「自分がやられて嫌なことは友達にしない」）の振り返り、「②春休みの過ごし方」、「③“感謝の心”を忘れないこと」の3点について話しました。

「①4月に校長と約束した右の2つの振り返りでは、自分自身の心の中で「できたかどうか」を確かめる時間をとりました。右に示した2つともできた人は、4月以降も続けること、また、どちらか1つ、或いは2つとも「まだまだかなあ…」と思った人は、「家族や友達と相談して、“どうすれば、右の2つができるのか”をしっかりと考えておいてほしい。」ということをお伝えしました。

とも せんせい はなし き

①友だち、先生の話をしっかり聴く！

じぶん

②自分がやられていやなことは友だちにしない！

はるやす

あさってから、春休み！

みらい じゅんびきかん

○ **「未来への準備期間！」**です。

あたら じぶん つく じゅんびきかん
(新しい自分を創るための準備期間)

× **「ただのおやすみ」ではありません。**

はるやす ちゅう

<春休み中にすること！>

つぎ かくねん じぶん

★「次の学年では、○○な自分になりたい」という目標をしっかりと決めておくこと。

もくひょう き

大きな声であいさつする
話をしっかりと聴く
友だちにやさしくする
毎日、本を読む

じぶん

「○○な自分」

もくひょう

目標をもつ！

次に「②春休みの過ごし方」について話しました。子どもたちには、「春休みは、新しい自分をつくるための

“準備期間”であり、自分の苦手な教科の復習をしたり、興味のあることを深く調べたり、運動をして体力をつけたり、家族や友達とゆっくり話す時間をつくったりする等々、時間を有効に使ってほしいということをお話しました。

校長講話のまとめとして、「③“感謝の心”を忘れないでほしい」に関わって、子どもたちには、「皆さんがここまで来られたのは、家族・友人・先生方・地域の方々の支えがあったからです。春休みの間に、支えていただいている方々に対する感謝を言葉や行動で伝えてください。」ということをお話しました。

かんしゃ きも

「感謝」の気持ちを！

・おとうさん、おかあさん、先生(せんせい)方、地域(ちいき)の皆様(みなさま)に、ささえられています。

まほう ことば

「ありがとう！」は、魔法の言葉です。

◆令和7年度 諏訪市立四賀小学校卒業証書授与式を終えて

卒業証書授与式の中で、校長から卒業生に、以下の2つのことをお伝えしました。

1つ目は、「失敗を恐れず、挑戦する人であってほしい」です。何事にも自分から挑戦しようとする心は、自分の可能性を広げることになり、自分の人生をより豊かなものにしていくことにつながるということをお伝えしました。二つ目は、「感謝の気持ちを忘れない」です。感謝の気持ちをなくし、「してもらって当然だ」という傲慢な気持ちが出てしまった時、自分を支えてくださっている大切な人たちは、自分の周りから離れていきます。そのようなことにならないように、友達や家族・地域の皆様への感謝の気持ちを常に忘れず、また、その気持ちを言葉や行動で表し続けてほしい、ということをお伝えしました。あわせて、子どもたちには「これからの時代は“自分の生き方や価値あるものを自分の力で見出し、その実現のために、自らの道を切り開いていく力”がより求められます。ここでも、『失敗を恐れずチャレンジする気持ち』と『感謝の気持ち』は、とても大切なものになります。この2つと四賀小の六年間で培ってきた力を併

せて、これからの自分をさらに成長させていってください。そして、いつの日か、母校のために、そして自分を育ててくれたふるさと諏訪のために、さらには日本の将来のために、貢献できる人になってください。皆さんの活躍を心から楽しみにしております。」ということをお伝え、はなむけの言葉とさせていただきます。



卒業式が終わって…。いつもの体育館とは違って、格別な思いがこみ上げてきます。